

第61回 水戸市体育祭水泳競技大会

新型コロナウイルス感染対策ガイドライン

運営上の感染予防対策として、小吹運動公園とも協力し、会場の3密回避、消毒薬の用意、時間差でのアップなどを行います。

それに加えて、感染から選手・関係者を守るためには、選手・関係者のみなさんの協力が必要です。以下は大会開催の際の感染予防のためにしていただくことのチェックリストです。よく読んで、協力をお願いします。

水泳競技会の再開時の感染拡大防止策チェックリスト

【選手・監督・コーチが順守すべき事項】

1 入館前

- 入館前2週間において、以下の事項に該当する場合は、入館を見合わせる。
 - 平熱を超える発熱
 - 咳（せき）、のどの痛みなどの風邪の症状
 - だるさ（倦怠感）息苦しさ（呼吸困難）
 - 臭覚や味覚の異常
 - 体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
 - 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- 選手は「健康チェックシート」に必要事項を記入し、持参すること。持参しない選手は大会に参加できない。**
- チーム引率者は「健康チェックシート」を確認してとりまとめ、当日受付に提出すること。上記の症状のある選手は参加させないこと。**
- 水泳用具・飲食物・ストレッチマット等は、専用の物を用意し共用しないこと。
- できるだけ現地集合・現地解散とすること。**
- 会場までの移動中は、マスクの着用、人との距離、座席間の距離、車内換気、会話などに留意すること。チームバス利用の場合は、密にならないよう人数に留意すること。
- 入場待ちの時間は、マスクを着用し、間隔を空け、会話を控えて待つこと。

2 水泳場

- 体調が悪くなったら、すぐにコーチ、競技役員に知らせること。
- 入館から退館時までの全ての場面で、人との距離（できるだけ2m以上、最低1m）をとって行動すること。**
- アップ時に、各レーン内で順番待ちをする場合や、ダッシュレーンで並ぶ場合も距離を保つこと。
- 選手控え場所・観覧席で、人との距離・座席間の距離を保つこと。観覧席では間隔を空けて使用すること。
- 更衣室は着替えのみに使用し、速やかに着替えて滞在時間を必要最小限とすること。ロッカーは使用しないこと。**
- 引率者は、チームに選手控え場所・観覧席・更衣室の利用方法を周知し、徹底すること。
- 泳ぐとき以外は原則的にマスクを着用すること（更衣室・招集所・選手控え場所・観覧席・プールサイド・トイレなど）。招集もマスクを着用する。熱中症に留意し、マスクをとる場合は、周りの人との距離を十分に保つこと。**
- レース前にはずしたマスクは、服のポケットか袋に入れること。**
(マスクは、選手イス・脱衣ボックスに直接置かない)
- 服を入れる袋を持参すること。（レース時、袋に衣服・マスクを入れ、脱衣ボックスに入れる。直接入れない）**

(10) こまめな手洗い、会場に設置および各所属で用意したアルコールによる手指消毒を実施すること。

(11) 選手は、招集所での選手間の会話、レース後の選手間の会話を控えること。

(12) 大きな声での会話や応援をしないこと。 コーチは、練習時の大きな声での指示、ホイッスルの使用を控えること。

(13) 唾や痰を吐くことは極力行わないこと。

(14) 飲食については、できるだけ単独でとること。複数で食事をする場合は、できるだけ広がって距離をとり、対面とならないようにし、会話を控えること。

(15) ドリンクの回し飲みはしないこと。

(16) 飲みきれなかったドリンクは、捨てずに持ち帰ること。

(17) 選手は、できるだけ、自分のレース終了後速やかに退館すること。

(18) ミーティング等は控えること。

(19) 水戸水協・施設管理者が決めたその他の措置・指示について従うこと。

3 退館後

(1) 退館後2週間以内に「新型コロナウイルス感染症を発症した」場合は、水戸水協に対して、濃厚接触者の有無等について報告すること。